

高知県柏島から得られたキツネウオ

松永 翼¹・森近 昂²・森近 涼²¹ 高知大学総合人間自然科学研究科海洋生物学研究室² 香川淡水魚研究会写真1 *Pentapodus caninus* キツネウオ (BSKU 139928)

種の記録

Nemipteridae イトヨリダイ科

Pentapodus caninus (Cuvier, 1830)

キツネウオ (写真 1)

標本 高知大学工学部海洋生物学研究室魚類標本 (BSKU 139928). 標準体長 (SL) 90.1mm, 2026 年 1 月 4 日, 高知県幡多郡大月町柏島 柏島漁港, 水深 20m, 釣り, 森近 昂採集.

種の特徴

背鰭 10 棘 9 軟条, 臀鰭 3 棘 7 軟条, 胸鰭 16 軟条, 腹鰭 1 棘 5 軟条, 鰓耙数 5+5=10, 側線有孔鱗数 46, 側線上方横列鱗数 3, 側線下方横列鱗数 13. 体は細長い円筒形で, 側扁する. 体高は低く, 体長の 27.4%. 頬部鱗列数は 6 枚. 眼下骨と前鰓蓋骨の縁辺には鋸歯がない. 頭頂部の鱗域は前鼻孔に達し, 鱗域中央が凹状. 尾鰭は二分形で, 両葉ともに後端は伸長しない.

備考

本標本は上記の特徴から藍澤・土居内 (2013) の示したキツネウオ *P. caninus* の特徴と一致したため本種に同定された. 一方で, 本標本は尾鰭の上葉と下葉ともに伸長せず, 藍澤・土居内 (2013) の示すキツネウオの特徴とは一致しない. しかし, 本種の尾鰭の形状には成長変異があり, 小型個体では尾鰭の上葉と下葉のどちらも伸長しないこと, 小型個体 (全長 40mm) では吻端から背鰭始部付近までの正中線上に黄色の縦線が 1 本はしることが知られる (Motomura and Harazaki, 2007). 本標本 (全長 114.5mm) にも吻端から背鰭始部付近までの正中線上に 1 本の薄い黄色縦線が見られるため, 本種の小型個体と判断した. 本種は日本と台湾からニューカレドニアにかけての西太平洋に分布し, 日本国内からは高知県, 大隅諸島, お

よび奄美大島以南の琉球列島で記録がある (藍澤・土居内, 2013; 本村, 2026). 高知県での記録は柏島での水中観察 1 例のみで (平田ほか, 1996), 本標本が本種の標本に基づく本県からの初記録および北限となる.

謝辞

原稿を校閲いただいた高知大学工学部海洋生物学研究室内の遠藤広光博士に感謝申し上げる.

引用文献

- 藍澤正宏・土居内龍. 2013. イトヨリダイ科. 中坊徹次 (編) 日本産魚類検索 全種の同定, 第三版. 東海大学出版会, 秦野. 946–954, 2011–2012.
- 平田智法・山川 武・岩田明久・真鍋三郎・平松 亘・大西信弘. 1996. 高知県柏島の魚類相—行動と生態に関する記述を中心として—. 高知大学海洋生物教育研究センター研究報告, (16): 1–177.
- 本村浩之. 2026. 日本産魚類全種目録. これまでに記録された日本産魚類全種の現在の標準和名と学名. Online ver. 40 (<https://www.museum.kagoshima-u.ac.jp/staff/motomura/jaf.html>, 2026 年 7 月 9 日参照).
- Motomura H, Harazaki S. 2007. In situ ontogenetic color changes of *Pentapodus aureofasciatus* (Perciformes: Nemipteridae) off Yakushima Island, southern Japan and comments on the biology of the species. Biogeography, 9: 23–30.

(2026 年 7 月 10 日受付, 2026 年 7 月 15 日公開)

連絡先: 松永 翼 (e-mail: kanokouo283@gmail.com)
(Tsubasa Matsunaga, Subaru Morichika and Ryo Morichika. 2026. Specimen-based record of *Pentapodus caninus* (Nemipteridae) from Kashiwa-jima Island, Kochi Prefecture. NSFie-ldnote, 26017)